

2021年12月期 決算説明会

TAMRON
Focus on the Future

2022年2月9日（水）
株式会社タムロン
（証券コード：7740）

Tamron Co., Ltd.

目次

I.総括・中期経営計画『Vision23』進捗

1. 2021年総括
2. 中期経営計画『Vision23』と進捗
 - ①連結業績
 - ②分野別動向

II.2021年実績

1. 2021年通期実績
2. 営業利益変動要因
3. 2021年セグメント別通期実績
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

III.2022年計画

1. 2022年通期計画
2. 2022年セグメント別通期計画
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業
3. ESG・サステナビリティへの取り組み
 - ①価値創造プロセス
 - ②ガバナンス改善
 - ③環境ビジョン

IV.参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

I . 総括・中期経営計画『Vision23』進捗

I - 1 . 2021年 総括

【 経 営 環 境 】

- 経済環境 : 経済活動は上向くも世界各地でコロナの再拡大、下期は半導体不足の影響が深刻化
- 市場環境 : コロナ禍ながらも**レンズ交換式カメラ市場、交換レンズ市場はプラス成長**
 - ・レンズ交換式カメラ ⇒ 数量**1%増**、金額**21%増**
 - ※うち、ミラーレス : 数量**6%増**、金額**31%増**
 - ※うち、一眼レフ : 数量**6%減**、金額**6%減**
 - ・交換レンズ ⇒ 数量**6%増**、金額**35%増**

【 当 社 実 績 】

- 連結業績 : **約20%増収。営業利益・経常利益は倍増⇒コロナ影響前の2019年も上回る**
 - ・計画に対しても売上・利益ともに達成
- 自社ブランド : **約20%増収。当社初となるAPS-Cサイズミラーレス用、Xマウント用を発売**
- 監視&FA関連 : 監視&FA用レンズは**約20%増収** (TV会議用レンズの減収影響を吸収)
- 車載 : **2桁成長継続し、約20%増収**
- その他 : **過去最高の年間配当**を実施予定 (従来予想60円⇒**82円**)
自己株式消却 (95万株) を実施 (消却前の発行済株式総数に対する割合 3.66%)

I - 2. 中期経営計画『Vision23』と進捗 ①連結業績

中期経営計画『Vision23』（2021年2月公表）

	2020年 実績	2023年 中期計画
売上高	484億円	610億円
営業利益	36億円	70億円
営業利益率	7.4%	11.5%
ROE	3.9%	9%以上

※為替前提

ドル = 105円
ユーロ = 123円

1年目進捗

	2021年 期初計画	2021年 実績
売上高	540億円	575億円
営業利益	44億円	74億円
営業利益率	8.1%	12.9%
ROE	6.3%	10.5%

ドル = 109.91円
ユーロ = 129.95円

2年目計画

※22年より収益認識会計基準適用
⇒売上高影響▲約10億円

	2022年 計画
売上高	610億円
営業利益	76億円
営業利益率	12.5%
ROE	9.7%

ドル = 110円
ユーロ = 128円

➤ 1年目で利益面は中期計画を達成

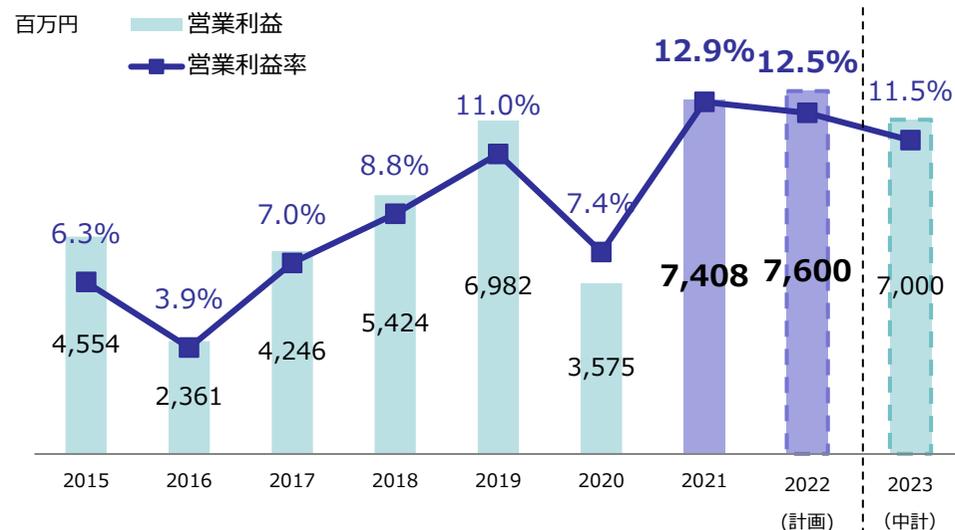
⇒コロナ影響前の高収益体質に早期V字回復を実現

⇒過去最高となる粗利率40%達成

⇒全セグメントで増収達成

➤ 2年目には、売上高も中期計画を前倒し達成へ

⇒成長/育成分野（監視&FA、モビリティ&ヘルスケア）
において2桁増収



I - 2 . 中期経営計画『Vision23』と進捗 ②事業別動向

中期経営計画『Vision23』

◆2020年比で監視&FA関連は約1.9倍、モビリティ&ヘルスケア、その他は約1.3倍の売上増 ⇒売上構成比は併せて約40%に

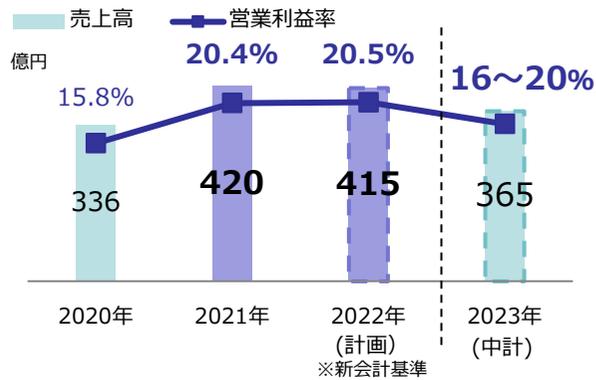
◆全セグメントにて利益率10%超となる事業ポートフォリオを構築

写真関連事業

◆中核事業として高収益維持

- ・ミラーレスへの集中注力によるラインナップ倍増
- ・新規フォーマットへの迅速対応
- ・OEMでのインスタアシェア向上

	2020年 実績	2023年 中期計画
売上高	336億円	365億円
営業利益率	15.8%	16~20%



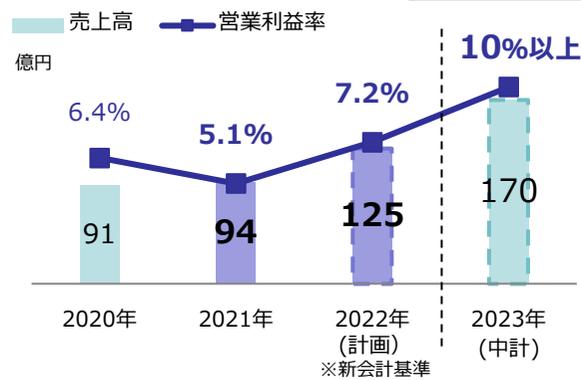
➤ 21年実績：売上高、利益率目標達成
⇒過去最高の利益率20%台へ

監視&FA関連事業

◆第二の柱へと売上・利益成長

- ・巨大な中国市場の取り込み、SWIR含む新規技術やモジュールビジネスでの事業拡大
- ・FAでのOEM創出、シェア向上

	2020年 実績	2023年 中期計画
売上高	91億円	170億円
営業利益率	6.4%	10%以上



➤ 21年実績：増収、開発注力
⇒22年では2桁増収、売上構成比20%台へ

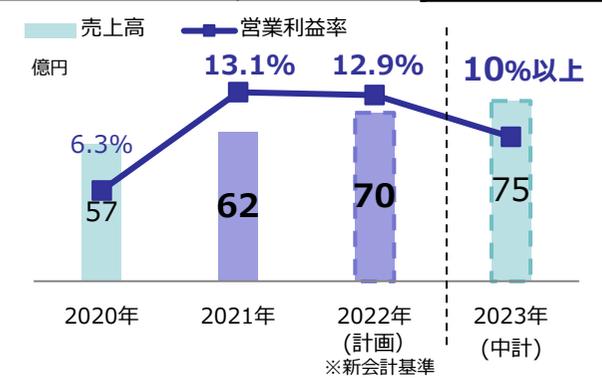
モビリティ&ヘルスケア、その他事業

◆次世代の柱の立ち上げ

◆新規事業領域の創出

- ・車載センシング強化、顧客開拓
- ・医療事業の本格立上げ、ヘルスケア領域への展開推進

	2020年 実績	2023年 中期計画
売上高	57億円	75億円
営業利益率	6.3%	10%以上



➤ 21年実績：利益率目標達成
⇒利益率13%台へ

Ⅱ. 2021年実績

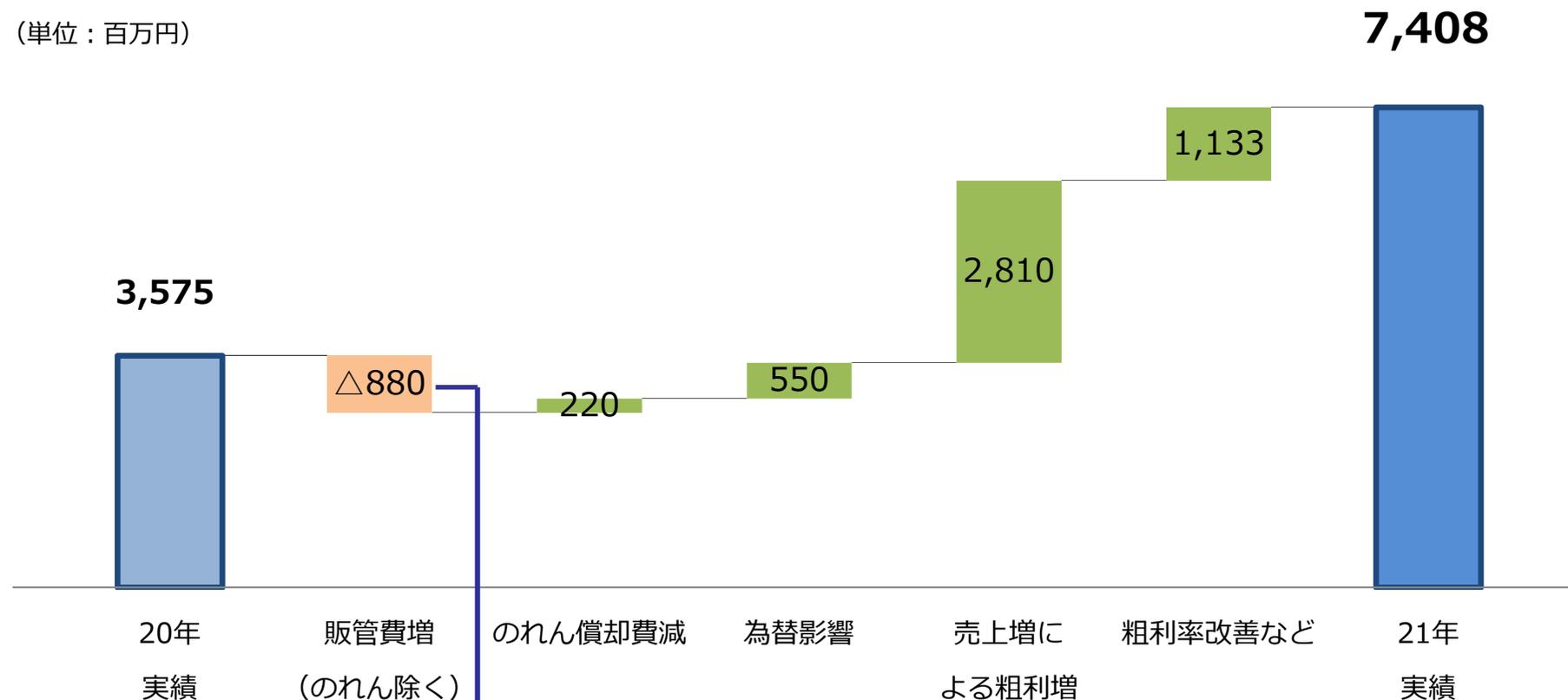
Ⅱ-1. 2021年 通期実績

- 為替のプラス影響あるも、為替影響を除いても大幅な増収増益
(為替影響：売上高に+17.7億円、営業利益に+5.5億円)
- 下期は半導体不足起因の電子部品調達難によるコスト増、顧客の生産調整等の影響あるも、計画を達成

(単位：百万円)	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (11/4計画)	2021年 通期実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	48,375	57,000	57,539	+9,164	+18.9%	+539	+0.9%
粗利益	18,370	-	23,207	+4,836	+26.3%	-	-
粗利益率	38.0%	-	40.3%	+2.3%	-	-	-
営業利益	3,575	6,500	7,408	+3,833	+107.2%	+908	+14.0%
営業利益率	7.4%	11.4%	12.9%	+5.5%	-	+1.5%	-
経常利益	3,750	6,600	7,531	+3,781	+100.8%	+931	+14.1%
経常利益率	7.8%	11.6%	13.1%	+5.3%	-	+1.5%	-
当期純利益	1,958	4,290	5,173	+3,214	+164.2%	+883	+20.6%
純利益率	4.0%	7.5%	9.0%	+5.0%	-	+1.5%	-
ドル	106.77	109.19	109.91	+3.14	-	+0.72	-
ユーロ	121.92	129.68	129.95	+8.03	-	+0.27	-

Ⅱ-2. 営業利益変動要因

(単位：百万円)

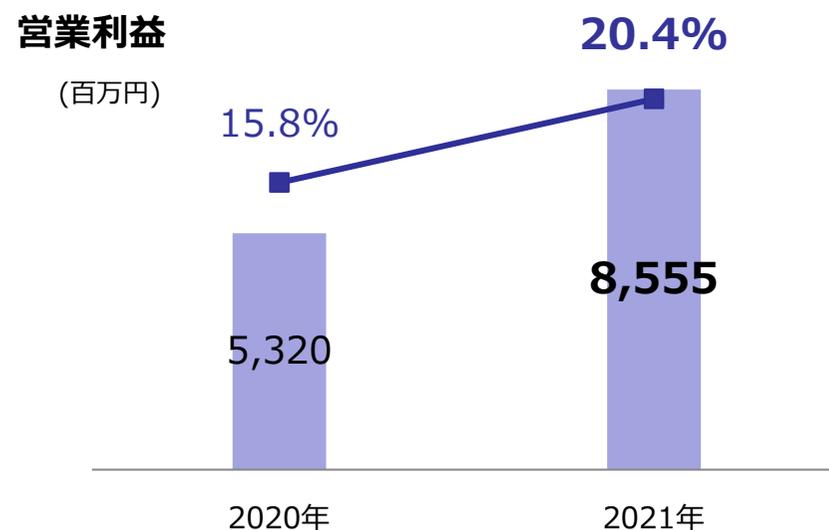
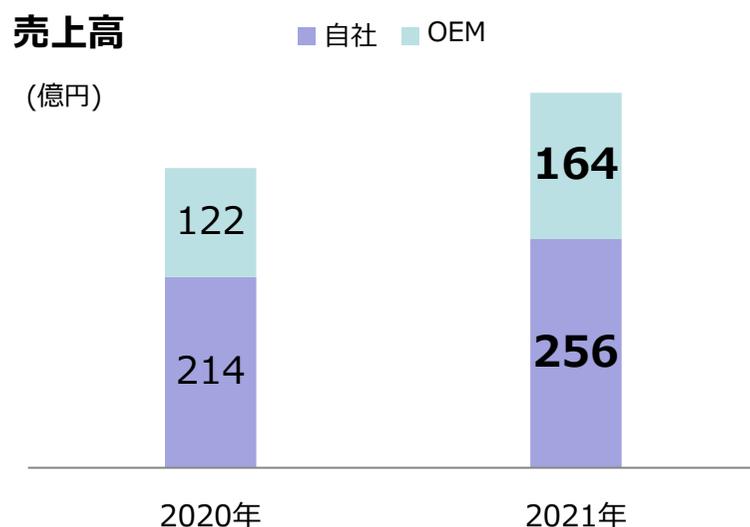


販管費増加額	+10.0億円
＜うち特殊要因＞	+2.2億円
・ のれん償却費減少影響	△3.4億円
・ 為替影響	
上記特殊要因除く、実質販管費増加額	+8.8億円
※うち、研究開発費	(+7%) +3.4億円

Ⅱ-3. 2021年 セグメント別通期実績 ①写真関連事業

(単位：百万円)	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (11/4計画)	2021年 通期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	33,569	40,900	41,999	+8,429	+25.1%	+13.7億円	+1,099	+2.7%
営業利益	5,320	7,800	8,555	+3,234	+60.8%	+5.0億円	+755	+9.7%
営業利益率	15.8%	19.1%	20.4%	+4.6%	-	-	+1.3%	-

- 自社ブランドは市場の回復、ミラーレス用の新製品投入効果により、各地域で売上を伸ばし約20%の増収
- OEMも市場の回復、受注機種増により約30%の増収
- 事業運営コストも適正な支出を図ったことで、**利益率は20%へ**



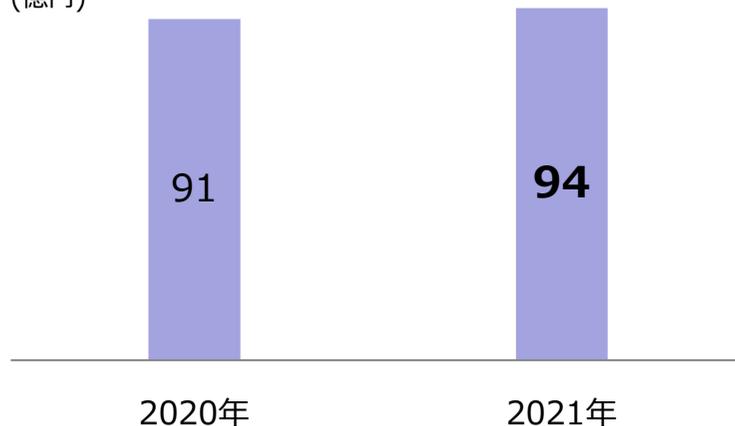
Ⅱ-3. 2021年 セグメント別通期実績 ②監視&FA関連事業

(単位：百万円)	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (11/4計画)	2021年 通期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	9,069	10,000	9,360	+291	+3.2%	+3.9億円	△639	△6.4%
営業利益	577	550	478	△99	△17.2%	+0.5億円	△71	△13.0%
営業利益率	6.4%	5.5%	5.1%	△1.3%	-	-	△0.4%	-

- 監視、FA/マシンビジョン用は、市場成長に伴い、着実に売上を伸ばし**約20%増収**。概ね計画通りの着地。
- TV会議用が昨年から続く需要減少傾向の継続により減収。下期で回復見込むも回復せず計画未達。

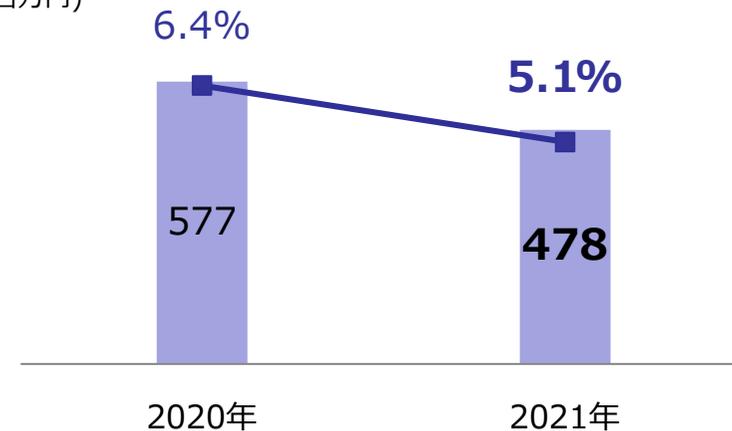
売上高

(億円)



営業利益

(百万円)

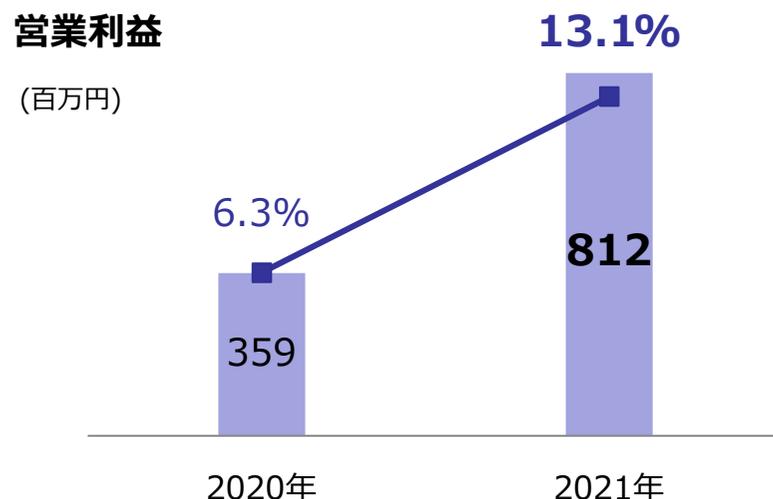
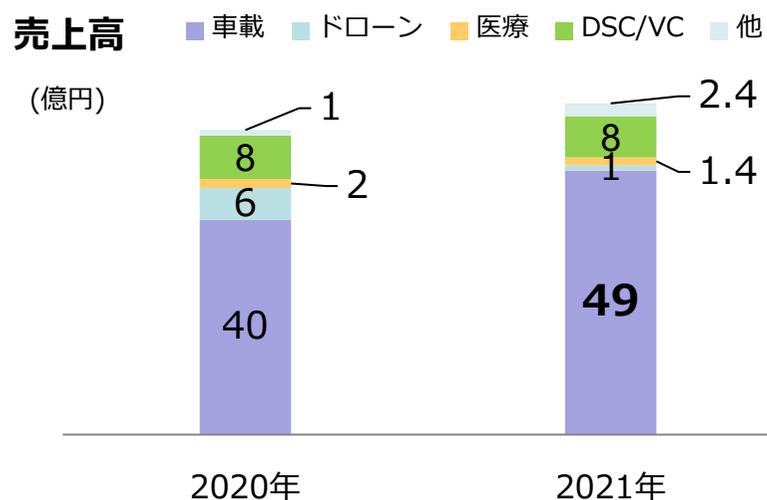


Ⅱ-3. 2021年 セグメント別通期実績

③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

(単位：百万円)	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (11/4計画)	2021年 通期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	5,735	6,100	6,178	+443	+7.7%	+0.1億円	+78	+1.3%
営業利益	359	750	812	+452	+125.9%	- 億円	+62	+8.3%
営業利益率	6.3%	12.3%	13.1%	+6.8%	-	-	+0.8%	-

- 車載用レンズはセンシング向けが好調に推移し、**2桁増収継続し、約20%増収**
- DSC/VCは市場減少のなか前期並みの売上確保も、ドローンが受注機種種の販売伸び悩みにより減収
- 車載用レンズの増収効果、販管費の抑制等により、**倍増以上となる営業増益、利益率は10%以上へ**



Ⅲ. 2022年計画

Ⅲ-1. 2022年 通期計画

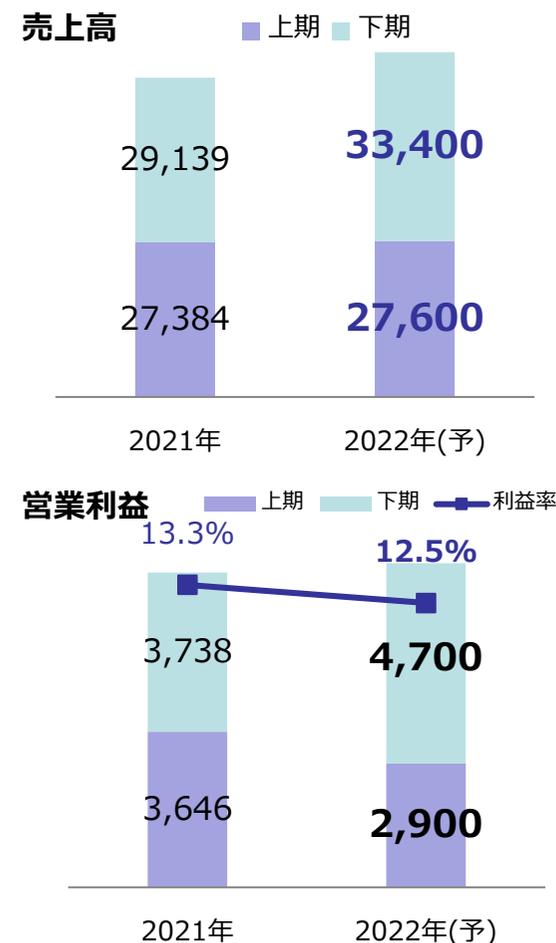
【 経営環境 】

- 経済環境 : 緩やかな回復基調と想定も、半導体不足による影響継続
- 市場環境 :
 - ・レンズ交換式カメラ・交換レンズ市場は数量は横這いも、高付加価値品の堅調により金額は増加
 - ・監視や車載市場は引き続き高成長継続

【 当社業績 】

- 原材料高等によるコストアップ、部材供給面に懸念も、高収益体質を維持しつつ、事業規模の拡大を実現

(単位:百万円)	2021年 通期実績 (※参考)	2022年 通期計画	増 減 (対前年)	
			額	率
売上高	56,523	61,000	+4,476	+7.9%
営業利益	7,384	7,600	+215	+2.9%
営業利益率	13.1%	12.5%	△0.6%	-
経常利益	7,507	7,600	+92	+1.2%
経常利益率	13.3%	12.5%	△0.8%	-
当期純利益	5,149	5,210	+60	+1.2%
純利益率	9.1%	8.5%	△0.6%	-
ドル	109.91	110.00	+0.09	-
ユーロ	129.95	128.00	△1.95	-

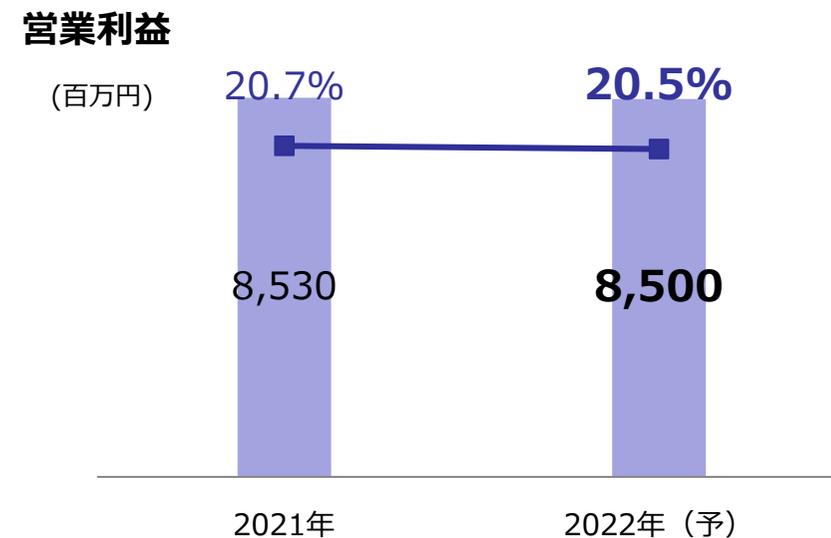


※2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用するため、2021年実績も適用したものと仮定して置き換えて表示

Ⅲ-2. 2022年 セグメント別通期計画 ①写真関連事業

(単位：百万円)	2021年 通期実績 (※参考)	2022年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	41,257	41,500	+242	+0.6%
営業利益	8,530	8,500	△30	△0.4%
営業利益率	20.7%	20.5%	△0.2%	-

- 2021年の2020年大幅減に伴う反動増の剥落、部材供給影響により微増収
- 原材料高、部材供給難等による部材のコストアップ、円高ユーロ安による為替のマイナスあるが、2021年並みの利益を維持



※2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用するため、2021年実績も適用したものと仮定して置き換えて表示

自社ブランド新製品投入状況

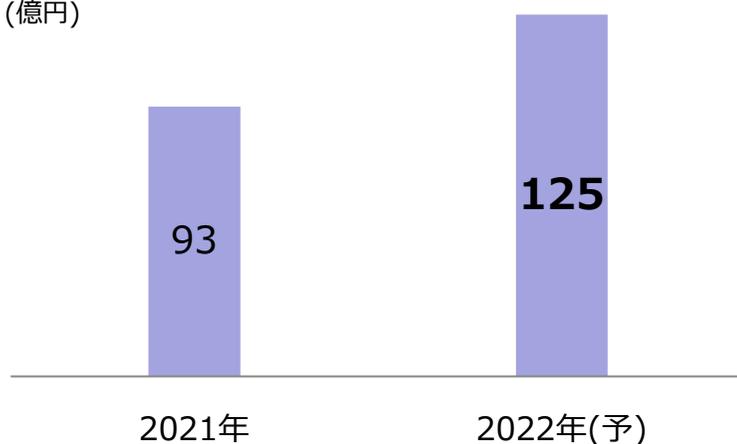
区分		2019年投入		2020年投入		2021年投入	
ミラーレス	単焦点	12月発売  24mm F/2.8 OSD M1:2 (F051)	12月発売  35mm F/2.8 OSD M1:2 (F053)	1月発売  20mm F/2.8 OSD M1:2 (F050)			
	広角ズーム	7月発売  17-28mm F/2.8 RXD (A046)				6月発売  11-20mm F/2.8 RXD (B060)	
	標準ズーム					1月発売  17-70mm F/2.8 VC RXD (B070)	10月発売  28-75mm F/2.8 VXD G2 (A063)
	望遠ズーム			5月発売  70-180mm F/2.8 VXD (A056)	10月発売  70-300mm F/4.5-6.3 RXD (A047)	6月発売  150-500mm VC VXD (A057)	10月発売  35-150mm F/2-2.8 VXD (A058)
	高倍率ズーム			6月発売  28-200mm F/2.8-5.6 RXD (A071)		9月発売  10月発売  18-300mm VC VXD (B061) 当社初の富士フィルムXマウント用レンズを ソニー Eマウント用と同時開発	
一眼レフ	5月発売  35-150mm F/2.8-4 VC OSD (A043)	6月発売  SP 35mm F/1.4 USD (F045)					

Ⅲ-2. 2022年 セグメント別通期計画 ②監視&FA関連事業

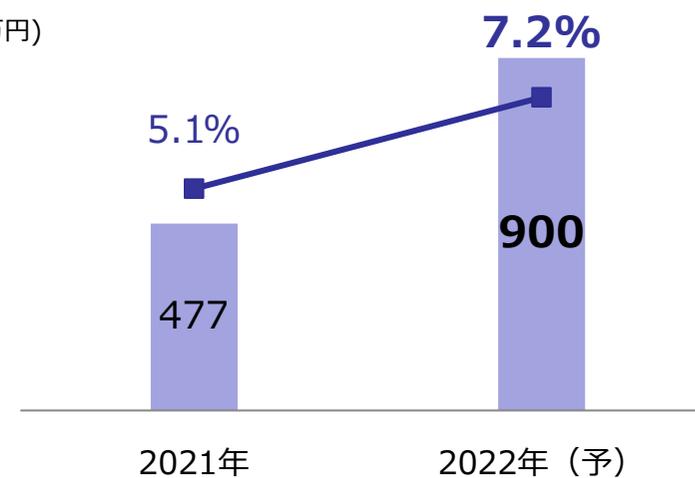
(単位：百万円)	2021年 通期実績 (※参考)	2022年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	9,326	12,500	+3,173	+34.0%
営業利益	477	900	+422	+88.7%
営業利益率	5.1%	7.2%	+2.1%	-

- 中国市場向けで**売上高を約倍増**、その他地域での増収、モジュールビジネスの回復等により、**過去最高売上高へ**
- 大幅増収効果により、**倍増近い増益**

売上高
(億円)



営業利益
(百万円)



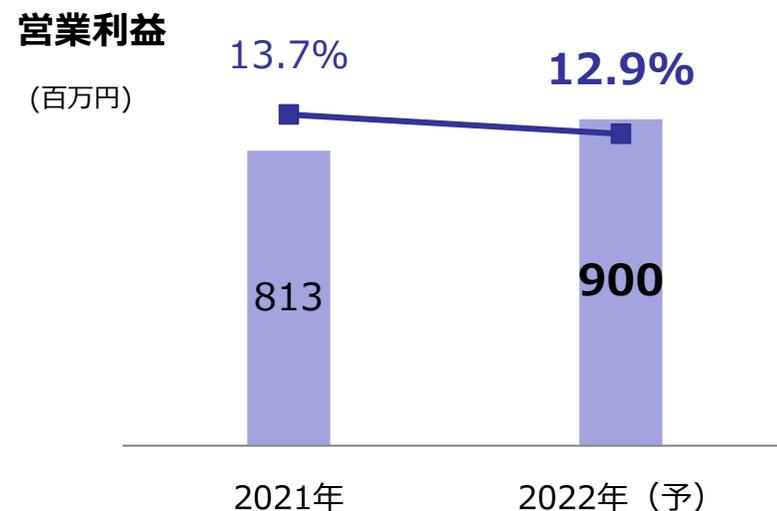
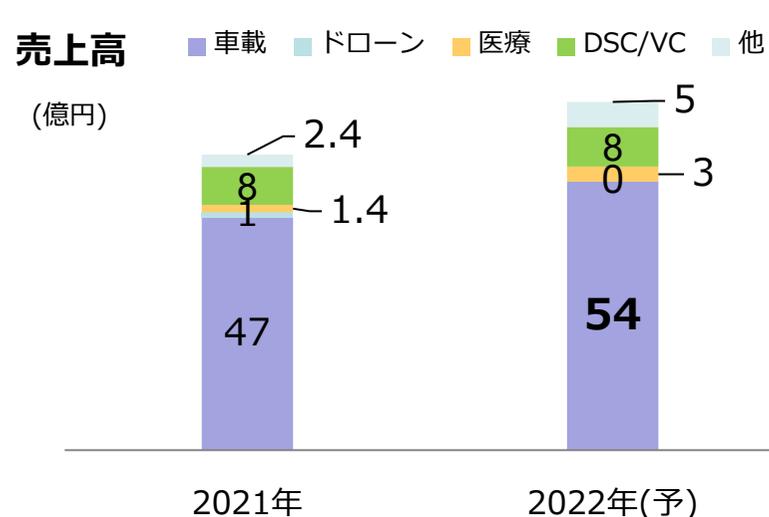
※2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用するため、2021年実績も適用したものと仮定して置き換えて表示

Ⅲ-2. 2022年 セグメント別通期計画

③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

(単位：百万円)	2021年 通期実績 (※参考)	2022年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	5,940	7,000	+1,059	+17.8%
営業利益	813	900	+86	+10.6%
営業利益率	13.7%	12.9%	△0.8%	-

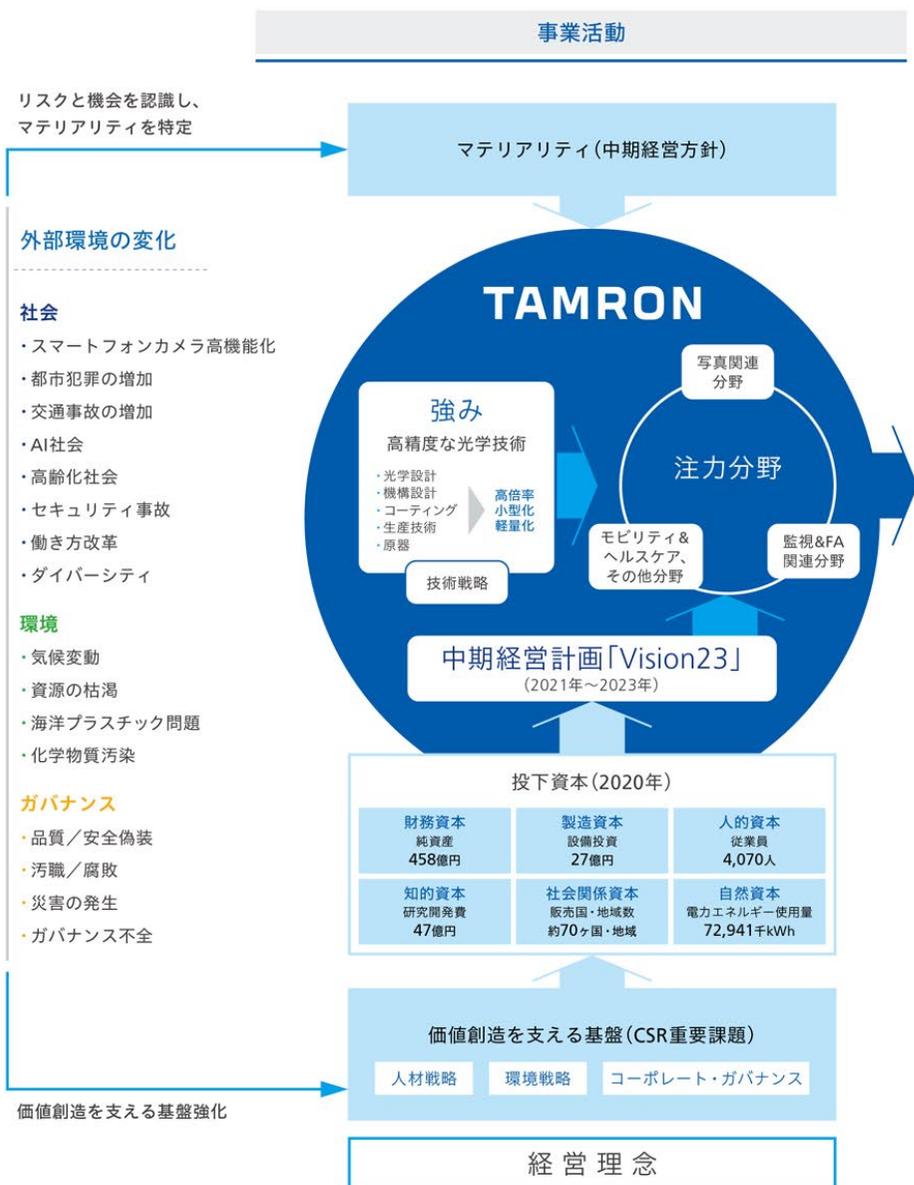
- 車載用での**2桁増収継続**、医療用の増収により**10億円の増収**。
- 医療用では、既存ビジネスの着実な成長、周辺ビジネスでの事業機会創出、投資・要素開発強化



※2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用するため、2021年実績も適用したものと仮定して置き換えて表示

Ⅲ-3. ESG・サステナビリティへの取り組み

① 価値創造プロセス



経済価値創出(2023年)

売上高 610 億円	営業利益 70 億円
営業利益率 11.5%	ROE 9.0% 以上



Ⅲ-3. ESG・サステナビリティへの取り組み ②ガバナンス改善

株主・投資家様との対話、改訂ガバナンスコードの趣旨等を踏まえ改善

⇒ 新市場区分「プライム市場」を選択・申請

主な項目	内容
取締役会の構成改善	<ul style="list-style-type: none">・独立社外取締役の割合を1/3以上へ【※2022年3月総会付議予定】・他社での企業経営経験者を社外取締役に選任【※2022年3月総会付議予定】
指名委員会、報酬委員会の構成改善	委員の過半数を独立社外取締役へ
取締役の任期短縮	任期1年に変更 【※2022年3月総会付議予定】
取締役の報酬指標の見直し	株式報酬の中期業績評価指標にTSR（株主総利回り）を追加
スキルマトリックス開示開始	2022年3月総会の招集通知にて実施予定
サステナビリティ関連の開示充実	環境ビジョン2050含め開示（2050年CO2ゼロ等）

Ⅲ-3. ESG・サステナビリティへの取り組み ③環境ビジョン

環境ビジョン2050

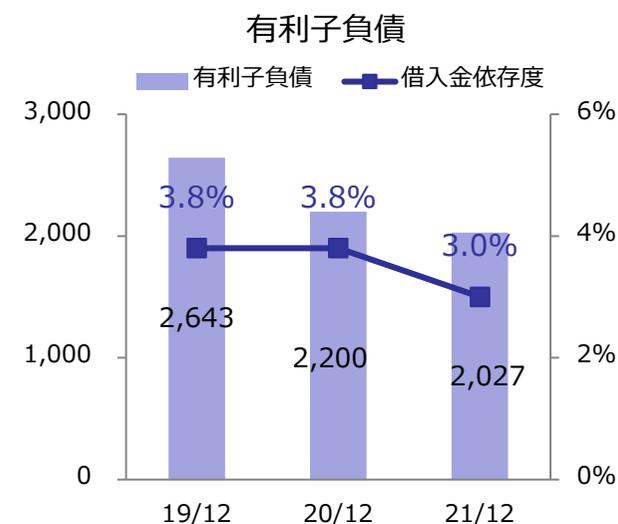
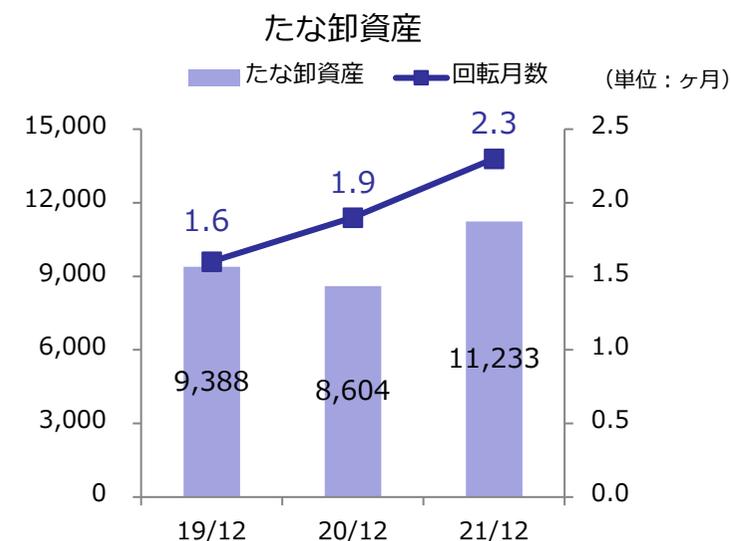
地球環境問題を人類共通の課題と認識し、環境負荷の低減、環境の保全に努め、
環境と調和した持続可能な社会づくりに貢献します。



IV. 参考情報

IV- 1 . 財政状況

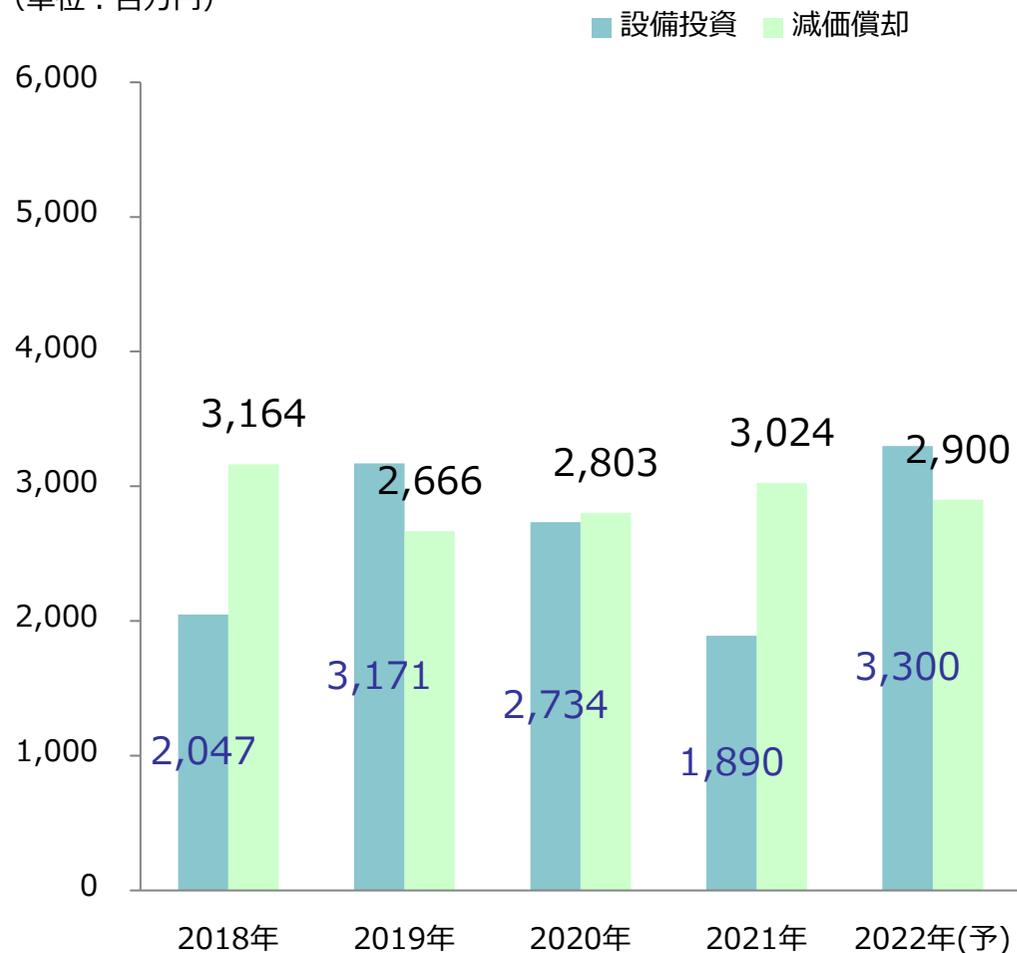
(単位：百万円)	2020年 12月末	2021年 12月末	増減 (対前期末)
現金・預金	21,417	25,797	+4,380
受取手形・売掛金	10,318	10,505	+186
たな卸資産	8,604	11,233	+2,629
その他流動資産	1,130	1,060	△69
固定資産	16,719	18,467	+1,748
資産合計	58,190	67,065	+8,875
流動負債	10,198	12,450	+2,252
固定負債	2,214	2,078	△136
純資産	45,777	52,536	+6,758
負債純資産合計	58,190	67,065	+8,875
自己資本比率	78.7%	78.3%	-



IV-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

設備投資額・減価償却費

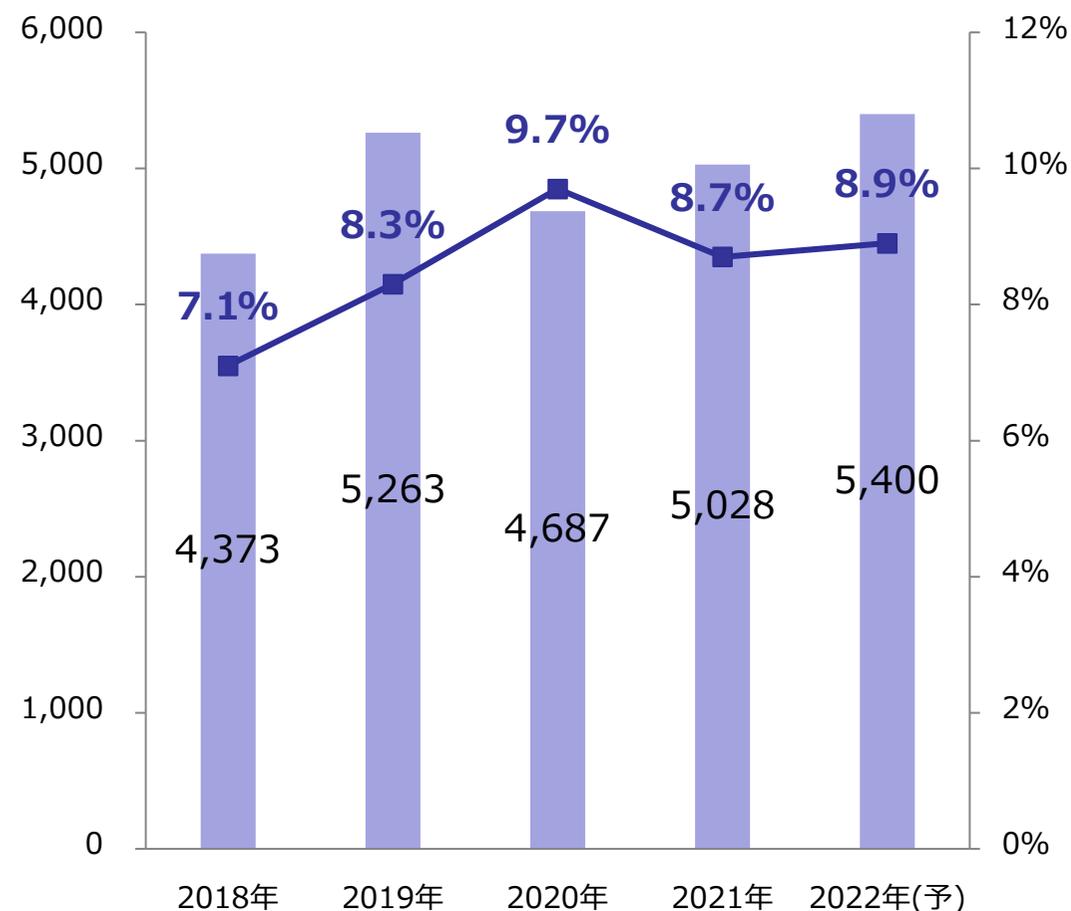
(単位：百万円)



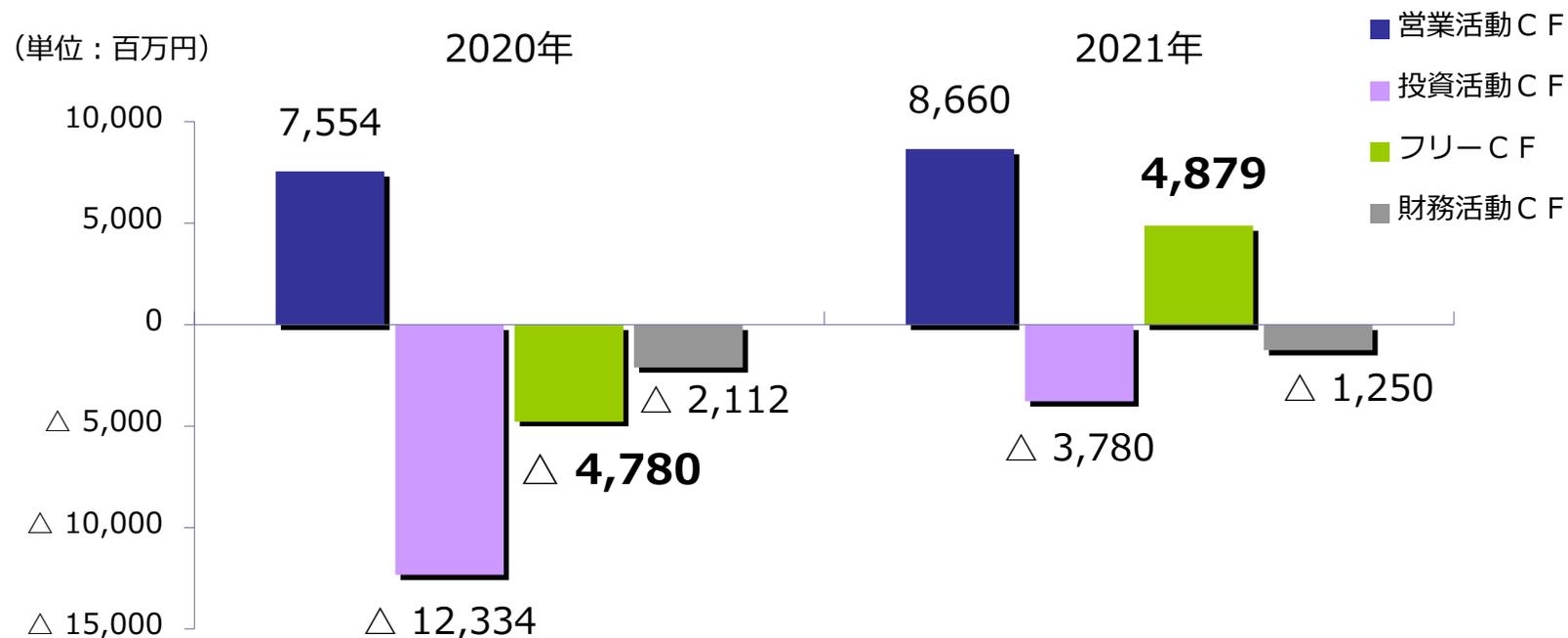
研究開発費

(単位：百万円)

売上高
研究開発費比率



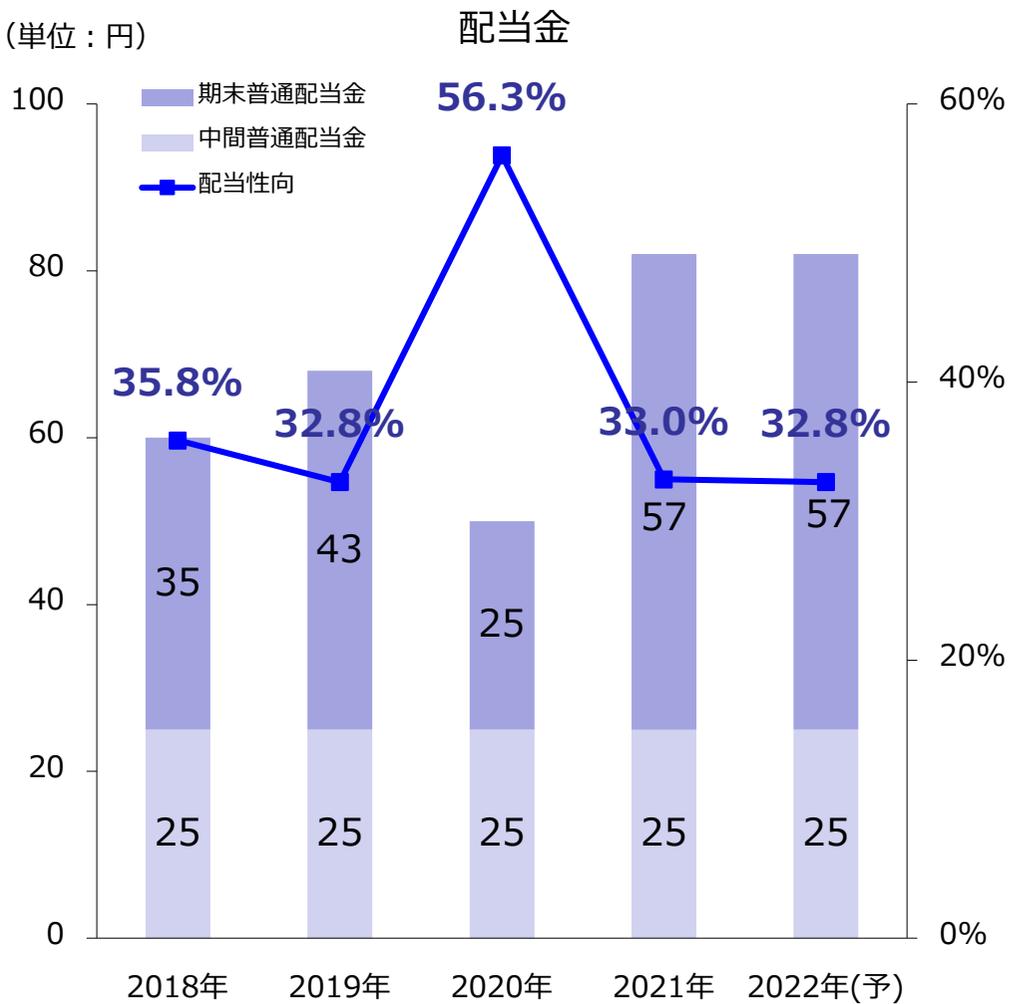
IV-3. キャッシュ・フロー



	2020年	2021年
営業活動CF	7,554	8,660
投資活動CF	△12,334	△3,780
フリーCF	△4,780	4,879
財務活動CF	△2,112	△1,250
現金及び現金同等物の期末残高	21,417	25,832

IV-4. 配当金、主要経営指標

(単位：円)



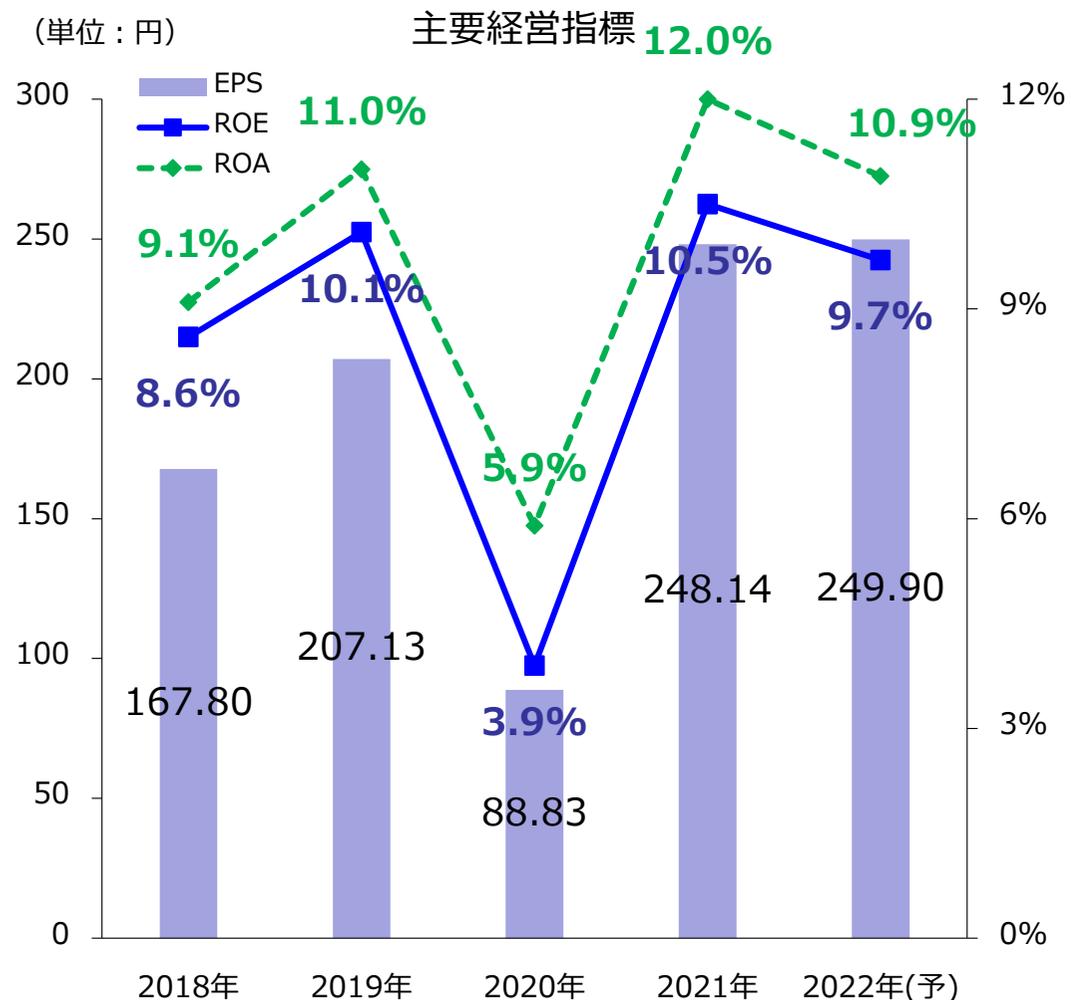
2020年3月：自己株式取得を実施
(89億円)

過去最高配当額

配当政策

- ・配当性向目標(連結ベース)：35%程度
- ・安定配当

(単位：円)



ROE = 当期純利益/純資産 (分母は期中平均)
ROA = 経常利益/資産合計 (分母は期中平均)

IV-5. 為替影響

①2021年 為替影響額

	為替レート		影響額	
	2020年実績	2021年実績	売上高	営業利益
米ドル	106円77銭	109円91銭	+7.5億円	△0.3億円
ユーロ	121円92銭	129円95銭	+5.1億円	+4.3億円
他通貨	-	-	+5.1億円	+1.5億円
合計	-	-	+17.7億円	+5.5億円

(前期実績に対する影響額)

②2022年 為替感応度

	為替レート	1円の変動 (円高)による影響額	
	2022年前提	売上高	営業利益
米ドル	110円00銭	△3.0億円	△0.1億円
ユーロ	128円00銭	△0.6億円	△0.5億円

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2021年12月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。